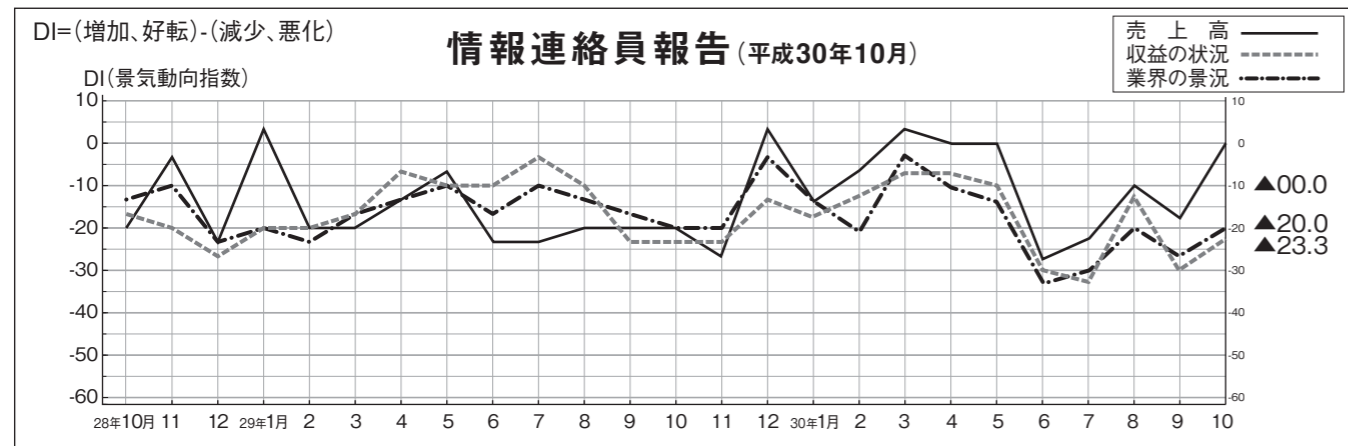


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向 2018年10月(前年同月比)



業界の状況

☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☁️...やや悪化 ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>10月度商況は平年並みであった。県外向け商況も平年並み。食品業界では、HACCP導入へ向けての準備がスタートし、高知県版のステージ1~3に向けてステップアップする動きが見られる。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>前年同月比104.5%となっている。</p>
<p>酒類製造</p> <p>減少が続く。他のアルコール飲料への移行も見られないことから、飲酒人口の減少、一人あたりの飲酒量の減少が考えられる。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>出荷数量は前年同月比82%。市況は、減少状況が続いている。</p>
<p>テントシート</p> <p>原油価格の高騰や動燃費の値上がり、人件費、物流コスト上昇等により、11月中旬からテント、帆布、ターポリン、産業資材が値上げとなるため、在庫数量が多少増加している。</p>	<p>機械団地</p> <p>例年落ち込む時期にもかかわらず、一部高水準を維持したとする企業があるものの、団地内の業況に特段の変化はなく、横ばいの状況が続いている。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>スギ・ヒノキ共搬入量は10%程度増加。価格はスギが5%程度、ヒノキは10%程度上昇。</p>	<p>刃物製造</p> <p>10月に行われたイベントは天候に恵まれ、昨年に比べ売上げを伸ばすことができた。</p>
<p>製材</p> <p>好天が続き期待もされたが、大きな変化もなく現状維持の状態が続いている。</p>	<p>船舶製造</p> <p>操業度は高い水準で推移している。仕入材料等の値上がり動向が気かりである。</p>
<p>製紙</p> <p>化粧品関係の紙・不織布加工業者は、訪日客需要の高まりを受け多忙を極めているが、国内向け家庭紙は、原料高、運賃、資材関係の高騰から厳しい状況が続いている。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>10月製品会取引高は、前年同月比65%の減であった。原木は相変わらず高値であるが、製品会での取引には反映されていない。</p>
<p>印刷</p> <p>県内需要は官公需、一般共に微減。県外需要に関しては一部業種にて増加傾向、他は昨年並み。全体では前年並みと思われる。</p>	<p>卸団地</p> <p>ガソリン価格の高騰や野菜の値段の高騰が、県内の観光・外食産業に大きく悪影響を与えている。特に燃料価格の先行き不透明感、輸送費アップやマイカーでの県外客減少等、不安を大きくする要因となっている。</p>

<p>青果卸売</p> <p>前年同月比で見ると、入荷量は、野菜、果物ともに9月度よりは増量傾向であった。平均キロ単価は、増量傾向にもかかわらず、9月度と同様の高水準の昨対比となり、結果、組合員合計では、昨対比114%となった。</p>	<p>商店街(四万十市)</p> <p>四万十川ウルトラマラソンが開催され、宿泊等の需要はあったが、経済効果に関しては不明。ただし四万十市に対するイメージアップには繋がっていると思われるため、リピートに関する調査が必要と思われる。</p>
<p>生鮮魚介卸売</p> <p>カツオ、小物は例年通りの入荷があった。マグロの入荷が少なく、買い高減少に繋がっている。</p>	<p>旅館・ホテル</p> <p>月初から連休にかけての台風発生と警戒予想に反応が強く、キャンセルがあった。台風の進路上にある地域や近辺地域からの入り込みに影響が出ていたように感じるが、イベントも多く、後半は天候にも恵まれた。</p>
<p>各種小売(土佐市)</p> <p>前月よりは少し動きが見られる。ポイントカードイベントが11~1月と続くので、賑わってたくさんのお客様に足を運んでいただきたい。</p>	<p>飲食店</p> <p>本月はここ数カ月続いた集客減から回復し景況が好転、前年度比でも売り上げが増加した。</p>
<p>ガソリンスタンド</p> <p>10月の元売り仕切り価格は、2週連続の値上げと2週連続の値下げがあり、値上げと値下げを迅速に実践すべきであったが、高知県は対応が遅れ、10月下旬に未転嫁分の値上げが実施された。</p>	<p>旅行業</p> <p>組合クーポン前年同月対比97%、全旅クーポンを加味して105%。組合クーポン優先利用を推奨しているが、全国組織展開のクーポンには太刀打ちできず、利用率減少の歯止めがきかない状況。</p>
<p>電気機械器具小売</p> <p>全商品トータルで、前年比98%。エコキュート106%。テレビ89.5%。</p>	<p>一般土木建築工事</p> <p>平成30年10月分の公共土木生コン出荷量は、前月比128.8%、前年同月比93.8%。平成30/4~30/10累計においては前年同月累計対比81.4%の水準。10月の公共工事請負金額は前年同月比で125.7%、前年対比累計金額では91.1%。</p>
<p>中古自動車小売</p> <p>9月の売出や中古車ジャンボカーニバルの影響、11月の始めにディーラー店が行う、中古車ジャンボフェアの影響を受け、10月の中古車販売台数は低調であった。</p>	<p>電気工事</p> <p>組合員の施工する電力引込線関連の工事量は、前年同月比187%となった。高知中央、須崎地区の伸びが要因である。</p>
<p>商店街(安芸市)</p> <p>初のハロウィンイベントを実施。約80名の参加があり、普段は立ち寄ることの少ない子どもさんに商店街の店舗に入ってもらう事で、お店を知るきっかけづくりになったと思われる。</p>	<p>一般貨物自動車運送</p> <p>組合実績は前年を若干上回ったが、燃料は高騰したままで組合員の経営に影響を与えている。燃料価格は、11月は値下げの見通しであるがまだ油断が出来ない状態といえる。</p>
<p>商店街(高知市)</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比110.2% 台数:前年比106.9%。今月は、外国客船の入港が6回、後半には天皇皇后両陛下のご来高やハロウィンイベント等により、多くの人出で賑わった。</p>	<p>タクシー</p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入:104.6%、輸送回数:103.3%。当月の実働率は66.4%。</p>

あなたの挑戦のそばに
三井住友海上はいつもいます。

安心のゴールキーパー

MS&AD
三井住友海上
www.ms-ins.com

クルマの保険
すまいの保険
ケガの保険

立ちどまらない保険。
MS&AD
三井住友海上
www.ms-ins.com

MS&AD インシュアランスグループはサッカー日本代表を応援しています。 ©2016 adidas Japan K.K. adidas, the 3-Bars logo and the 3-Stripes mark are trademarks of the adidas Group.